

竹の力を活用！「地域の課題を地域の資源（たから）に」 竹灯りイベント実施事業

江川邸竹灯り実行委員会×農林課

【事業目的】

地域の課題である放置竹林を整備し、伐採竹の活用を進めることにより、地域課題の解消に向けた取組を市民協働で推進し、資源循環型社会の形成に寄与すること。

【事業内容】

- 放置竹林の整備 ● 放置竹林の現状や竹の活用等についてのワークショップの開催
- 江川邸での竹灯りイベントの開催

【写真の説明】



実行委員会の様子。キャンパスにデザイン化された下絵をさらに拡大した型紙を竹に糊付けしたものを検討しあう様子。



実行委員会主催による高校生と関連する諸団体協力のもとに、放置竹林から伐り出した竹に型紙を糊付けし、竹細工に挑み、ものづくりの成果を得た。

【事業のようす】

毎月1回以上の実行委員会の開催と、作業部会や高校生による放置竹林による竹灯り細工の会を開催しています。また、多くの団体からのご賛意を得て山野に入り、放置竹林対策とものづくりの体験を行うことができました。この様子は、江川邸竹灯りのホームページに活動を公開しています。

【目標（1年目の団体）】

1年目の目標は、11月5～6日実施予定の、6年ぶりに復活する江川邸竹灯りイベントを記憶に残し、キッズからシニアまでが竹と縁を結び、自然と地元の歴史を知り、そして学ぶ機会を設け、次世代に伝承することを最重要な課題目標としています。

【今後の予定】

県立大学生や伊豆総合高校との連携を図り、11月5～6日実施予定の江川邸竹灯りイベントの開催と、さらに竹灯り活動報告の印刷と配布を行います。このネットワークにより、地元の慣習や歴史、自然の大切さを一緒になって学び、次世代につなげるための体験教室や農業教室、歴史教室などを予定します。